



## <募集要項>

### NTS2021 チャレンジトレーニング

(兼 NTS2021-2022センタートレーニング)

#### 趣旨

ハンドボール経験者および未経験者を問わず、国際舞台で活躍できる極めて優秀なタレントの発掘をト

ライアウト方式で行う。

主催：公益財団法人日本ハンドボール協会

主管：公益財団法人日本ハンドボール協会 NTS 委員会

#### 1. 期間

2022年2月1日(月)12:00~2022年2月28日(日)23:59

#### 2. 参加資格

- (1) ハンドボールと仲間を愛し、自らの成長を目指して努力を楽しめる者
- (2) 将来、日本代表として国際舞台での活躍を目指す者
- (3) 日本国籍を有する者あるいは日本国籍を有する見込みの者
- (4) 育成パスウェイへの参加義務を順守できる者

優秀な選手は、日本ハンドボール協会が主催する育成パスウェイ(ナショナルトレーニングアカデミー(NTA))へ推薦する。推薦された選手は、必ず育成パスウェイに参加しなければならない。

育成パスウェイの詳細は、「6.NTA への推薦人数」をご参照ください。

- (5) 対象学年

カテゴリ	対象学年
U16	中学2年生・中学3年生・高校1年生
U13	小学6年生・中学1年生

※都道府県ハンドボール協会等の推薦は必要ありません。

- (6) ハンドボール経験の有無は問わない。

※誠に申し訳ありませんが、けがをしている選手は、ご応募を自粛くださいますようお願いいたします。

### 3.選考内容

下記の項目を自己測定あるいは撮影してください。測定結果は応募時に Web で入力、撮影 VTR は YouTube へアップロードしてください。

<★がついた項目は、日本協会 HP にて公表します。あらかじめ、ご了承ください。>

#### (1) 形態

- ①身長★ ②体重 ③利き腕 ④靴のサイズ ⑤2020年(およそ1年前)の身長 ⑥2019年(およそ2年前)の身長  
⑦母親の身長(任意) ⑧父親の身長(任意)

#### (2) 体力★

- ①30m走 <https://youtu.be/UOKTzHmAcW4>  
②立ち幅跳び <https://youtu.be/ABiZPnXBqEw>  
③ハンドボール投げ <https://youtu.be/BpOAFZJgdkw>  
④イリノイテスト <https://youtu.be/0nnIOm-M94Q>  
⑤垂直飛び <https://youtu.be/G5J5H6I29cY>  
⑥コートシャトルテスト [https://youtu.be/FHN\\_XypWR3Y](https://youtu.be/FHN_XypWR3Y)

測定方法詳細についてはこちら [http://www.handball.or.jp/training/doc/nts2019/2019nts\\_sokutei.pdf](http://www.handball.or.jp/training/doc/nts2019/2019nts_sokutei.pdf)

#### (3) プレー動画および自己 PR 動画★

詳細は、「5. プレー動画および自己 PR 動画」をご確認ください。

#### (4) 個人スキル(U13のみ)

NTSU13の個人スキルをすべてクリアしていること

個人スキル動画 <URL> <https://youtu.be/xb5ORKLdLFY>

<QRコード>



参考:NTSブロック・センタートレーニングの推薦基準<抜粋>

		U-13 男子	U-13 女子	U-16 男子	U-16 女子
形態	身長	173cm	164cm	180cm	170cm
運動能力	30m走	4.5sec	4.8sec	4.3sec	4.7sec
	両足ジャンプ(立ち幅跳び)	2.27m	2.0m	2.5m	2.05m
	ハンドボール投げ(立位・両足揃えて投げる)	30m	24m	39m	27m
	身のこなしテスト(イリノイアジリティテスト)	16.7sec	17.8sec	16.0sec	17.3sec

※「ハンドボール投げ」の使用球は、当該カテゴリで使用しているボールを使用する。

※身長の年次変化も参考とする。

※上の表の推薦基準は参考であり、基準を満たしていなくても応募することができる。

※いただいた個人情報は厳重に管理し、本チャレンジトレーニング以外の目的には使用いたしません。

## 4.応募方法

---

インターネットでの応募とする。

下記 URL もしくは QR コードより、お申し込みください。

正しく申し込みが終了すると自動返信メールが届きます。

メールアドレス等の設定（ブロックなど）には、ご注意ください。

申し込み確認のご連絡にはお応えしかねますので、十分にご注意ください。

<URL> <https://forms.gle/51TBGN4wdnWnEuFs6>

申し込み期間 2022年2月1日(月)12:00~2022年2月28日(日)23:59

## 5. プレー動画および自己 PR 動画の撮影方法と提出方法

---

すべての動画を編集してひとつの動画にまとめ、YouTube へアップロードしてください。公開設定は、「限定公開」でもかまいません。

インターネットでの応募時に、YouTube のリンクを入力していただきます。

NTA に選考された選手の映像は、日本協会 HP を通じて配信いたします。

### (1) コートプレーヤー

#### ①シュート(ステップ・ランニング・ジャンプ・倒れこみなど) 30 秒以内

GK とパスサーを配置し、シューター利き腕側の斜め前方から撮影ください。

#### ②フェイント(ステップワークによるフェイント・シュートフェイントなど) 30 秒以内

ディフェンスを配置し、下記の 2 つのフェイントを、オフENSEの選手の後方から撮影ください。

a. パスサーとのパス交換からフェイント

b. ドリブルからフェイント

#### ③試合動画 1 分以内

試合動画を編集して、好プレー集を作成ください。

シュート、アシスト、ディフェンスなんでもかまいません。

動画内で大会名、対戦相手名を表示ください。

可能であれば、字幕や矢印や図形(○で囲む)等で、選手をお示しください。

練習試合でもかまいません。

#### ④自己 PR 30 秒以内

### (2) ゴールキーパー

#### ①いろいろなシュートのキーピング 1 分以内

a. ロング・ミドルシュート

b. ウイングシュート

c. ピヴォットシュート

d. ノーマークシュート(速攻)

シューターの後方から、撮影ください。

②試合動画(実際の試合の動画) 1分以内

試合動画を編集して、好プレー集を作成ください。

動画内で大会名、対戦相手名を表示ください。

「相手シューターがパスを受ける少し手前」から「ゴールキーパーのセーブ」までを編集ください。

「速攻へのロングパス」があることが望ましいです。

練習試合でもかまいません。

③自己PR 30秒以内

参考動画 昨年度のNTA 推薦選手

[U16 男子](#)

[U16 女子](#)

[U13 男子](#)

[U13 女子](#)

## 6.参加料

---

無料

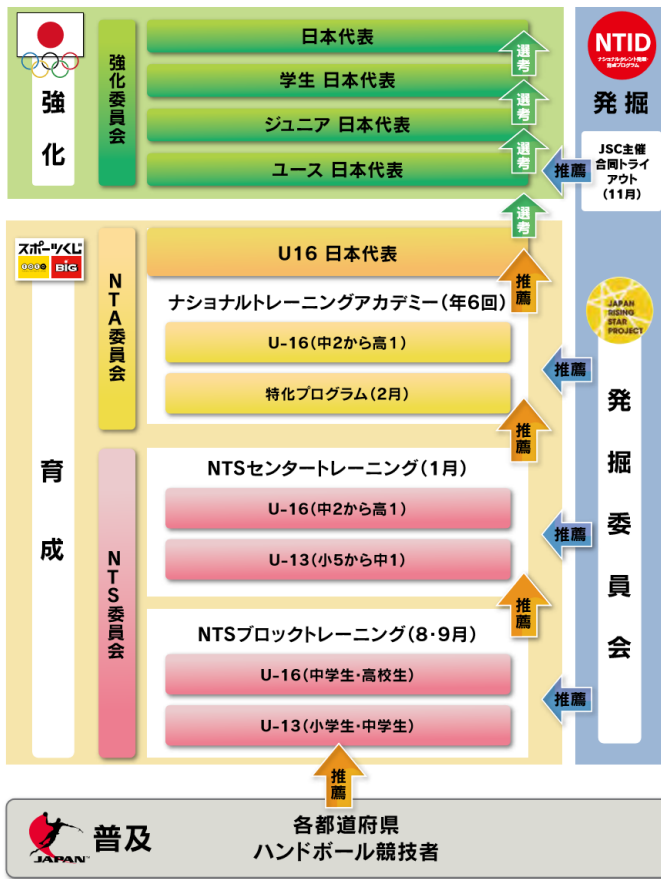
## 7.NTA(ナショナルトレーニングアカデミー)への推薦人数

---

U16 男子 30名程度・女子 30名程度

U13 男子 30名程度・女子 30名程度

本チャレンジトレーニングからNTA委員会へ推薦されます。推薦された選手の中から、NTA委員会でさらに選考が行われます。NTA委員会で選考された選手が、NTAのトレーニングに参加することができます。



## 8. 合格通知

NTA 委員会へ推薦する選手は、下記の方法で連絡をします。

2022 年 3 月末～4 月中旬ごろを予定しています。

- (1) 日本ハンドボール協会ホームページ
- (2) メール通知

メールアドレス等の設定には、ご注意ください。申込者のメールアドレスの受信設定の不具合等により、メールが届かず、参加ができないことがあっても、当方は責任を負いませんので、十分にご注意ください。

合格通知発信メールアドレス [nts@japan-handball.jp](mailto:nts@japan-handball.jp)

(※合格者のみメールをいたします。また、合否結果の理由については、公開いたしません。)

## 9. 免責事項

日本ハンドボール協会は、当チャレンジトレーニングにおいて下記のように免責事項を定めさせていただいております。安全に最大限に努めてまいります。何卒免責事項にご理解賜りますようお願いいたします。

- (1) 当チャレンジトレーニングにおいて、発生した事故や怪我・病気などの責任を負いかねますことをあらかじめご了承ください。各自の責任において保険への加入を行ってください。
- (2) 医師の診断等を受けて運動の禁止あるいは注意を受けていた場合は、当チャレンジトレーニングへの参加はできません。また、当方ではその責任を一切負いません。

## 10. 注意事項

---

日本ハンドボール協会は、当チャレンジトレーニングにおいて下記の注意事項を定めております。ご理解いただきますようお願いいたします。

- (1) 当チャレンジトレーニングで撮影された画像や映像を当協会公式インターネット媒体で使用することがあります。
- (2) トレーニングで収集される体カデータ等（アンケート含む）は、個人を特定できないように処理したものを、学会や学術誌、メディア等で発表する場合があります。

【本件にかかるお問い合わせ】

日本ハンドボール協会

発掘委員長

仲田好邦

[nts@japan-handball.jp](mailto:nts@japan-handball.jp)